

令和元年度行政評価 事務事業評価シート(平成30年度実績)

事務事業コード	020102010	予算コード	01049210	従事人員(人)	投入コスト(千円)	評価	評価点	一次評価	A		
事務事業名	学校安全緊急対策事業			正規職員数	0.35	国庫支出金	0	引続き、市内13小学校の正門、あるいは通用門脇の受付室に受付員を常駐させ、来訪者の確認を行い、不審者発見時通報を行うことが必要である。 児童生徒が巻き込まれる事件や事故が多発する中、保護者のニーズも学校の安全対策に対する要望が増えてきている。学校敷地内だけでなく、通学路等の対策も含めスクールガードリーダーの増員も含めて検討が必要である。	A		
担当課	学校教育課			嘱託職員数	0.1	府支出金	606				
根拠法令等	市単独事業			臨時職員数	0.05	市債	0			B	
				歳出(千円)		その他	0			A	
				人件費総額	3,549	一般財源	17,815				
						減価償却費	0				
事務事業類型	運営事業			フルコスト(千円)	18,421	事業費	14,872			受益者負担	該当なし
実施手法	一部委託			フルコスト(千円)	18,421	緊急性				A	事務事業実施内容
対象	市内13小学校の児童及び教職員			市民1人当たりコスト(円)	183	公的関与				A	市内13小学校の正門、あるいは通用門脇の受付室に受付員を常駐させ、来訪者の確認を行い、不審者発見時通報を行う。
特定の市民	対象数	5310		活動指標	H30実績	実施主体・委託化				B	
事業の内容	市内13小学校の正門、あるいは通用門脇の受付室に受付員を常駐させ、来訪者の確認を行い、不審者発見時通報を行う。 スクールガードリーダーによる学校の巡回指導と評価等の実施を行う。			のべ配置人数	3,981.0	他の事務事業との関連		A			
事業の目的				成果指標	H30実績	透明性		該当なし			
				のべ配置日数	2,599.7	財政健全化計画		該当なし			
						財政健全化の取組		該当なし			
				コスト指標	H30実績	改革改善プラン達成度		該当なし			
事業の目的	小学校において、学校安全管理マニュアルに基づき、来校者のチェック、不審者発見時の通報を行うための要員の配置を行い、学校生活の安全を守る。 学校や通学路における子どもの安全確保を図る。			対象者1人当たりの経費	3,469.1						